脱炭素社会の実現に向けて

グループ GHG 排出削減目標

【長期目標】
2050 年度　カーボンニュートラル　グループ（国内・海外）
【中期目標】
2035 年度　2022 年度比　GHG 55%削減　グループ（国内・海外）
【短期目標】
2030 年度　2013 年度比　CO_2 31%削減　グループ（国内）

事業活動における直接的、間接的な排出（Scope1、Scope2）

KPI		短期目標	中期目標	長期目標
		CO_2排出量削減 (Scope1+2)	GHG 排出量削減 (Scope1+2)	
基準年		2013 年度	2022 年度	
ターゲット	目標年	2030 年度	2035 年度	2050 年度
	目標値	31%削減	55%削減	カーボンニュートラル
対象範囲		グループ（国内）	グループ（国内・海外）	

GHG：Greenhouse gases（温室効果ガス）

短期目標
範囲　IT インフラ流通事業：ダイワボウ情報システム株式会社(連結)
　　産業機械事業：株式会社オーエム製作所(連結:国内)
　　ダイワボウホールディングス株式会社(単体)
　　但しアルファテックソリューションズ株式会社及び一部拠点を除く
CO_2 排出 Scope1：事業者自らによる直接排出
　　Scope2：他社から供給された電気の使用に伴う間接排出

中期～長期目標
範囲　IT インフラ流通事業：ダイワボウ情報システム株式会社(連結)
　　産業機械事業：株式会社オーエム製作所(連結:国内・海外)
　　ダイワボウホールディングス株式会社(単体)

GHG 排出 Scope1：CO_2 以外も含む事業者自らによる直接排出
　　Scope2：他社から供給された電気・冷水・温水の使用に伴う間接排出

この目標達成に向け、以下のような取り組みを段階的に進めてまいります。
・エネルギー使用の効率化
・各拠点における電力使用の効率化および省電力化の推進
・再生可能エネルギーの利用拡大

さらに、今後は Scope1・2 に加え、バリューチェーン全体で発生する温室効果ガス（Scope3）についても取り組みを推進し、気候変動リスクを成長機会と捉え、気候変動の緩和と適応の両面で持続可能な社会の実現に貢献すべく、全社一丸となって取り組んでまいります。

マテリアリティ	
E(環境)　： 脱炭素社会の実現に向けた取り組み	